

2020 年度国際ユース作文コンテスト

【若者の部】 入選

テクノロジーとエコロジー — 平等主義者の視点から

(原文は英語)

アディア・カプール (15 歳)

インド・ウッタール・プラデーシュ州

アミティ・インターナショナルスクール・バスンドゥラ第 6 区校

アディアへ

元気ですか？私は元気です。たった今、私の本の出版に関するホログラム会議を終えたところです。木曜の夜だしもう週末なので、あなたに手紙でも書こうと思い立ちました（自動筆記ペンに向かって話しているという方が近いけれども）。「まだ木曜日なのにもう週末？」と疑問に思っているかもしれないけれど、実はここ数年の間に平日は木曜日までになったのです。

週末は 3 日に増えたけれど、仕事のある日は膨大な量の仕事に追われて大変です。私はここ 3 年ほど、サッカー AI 審判管理部で働いています。ドローンを使って試合の重大局面での審判員の判断を補助するシステムで、私たちはドローンを操作して、サッカー場の様子をあらゆる角度から再生できるホログラフィックビデオを提供しています。近年、たくさんのこのような技術や新しい手法が、さまざまなスポーツに導入されています。

あなたも知っているように、私は昔から書くことが趣味でしたが、今はプロの作家になりました。毎日、自分の作品をホログラム（ホログラフィックマガジン）で発表していて、これまでにオンライン書籍を 2 冊出版しました。読者を魅了するために、自分の本をライトモチーフや 3D グラフィックスなどを施します。

10 年ほど前に、森林を保護し、パッケージに使われる低品質プラスチックの使用を最小限にするために、本の印刷が廃止されました。この数年の間に、電子書籍リーダーは普及・進化し、今はホロパッド（Holo-pad）という商品が使われています。ホロパッドは、非常に細かい音声表現や読者を夢中にさせるようなグラフィックを使って、ホログラフィック本を朗読してくれます。でも、私には昔から本を集めるのが上手だったので、昔集めた大量の古い紙の本は、収納棚に大切に保管しています。今では世界に現存する数少ない紙の本のコレクションの一つです。最近の図書館は、ホロパッド、ホログラムプロジェクター、オーディオブック、AI 図書館員で構成されているのです。

今日の書籍出版会議中に奇妙なことが起きました。本にサインをしていたら、ドローン配達サービスの「ガルダ（Garuda）」が、私のホログラムプロジェクターの上に荷物を落としていったのです。

その途端、私はデジタルペンを手に持ったまま自分の部屋に引き戻され、机の上にはオーガニック食品と3Dプリントされた雑貨が入った荷物が置いてありました。「ドローンのセンサーは、なんでホログラムプロジェクターを感知しなかったのだろう」と思いましたが、ウィジェットの設定を確認したら、緊急配送（顧客の目の前に届ける設定）に変更されていました。犯人はたぶん私の10歳のいとこで、この前の火曜日にうちに遊びに来たとき、私の配送ウィジェットを触ったのだと思います。

明日は両親に会いに行こうと思っています。両親は今、ここから150キロほど離れた隣町に住んでいます。今では主要な公共交通機関になった浮上式鉄道で20分ぐらいです。車を使う人は劇的に減り、個人で車を所有している人はほとんどいません。その車も全て電動自動車かバッテリー式自動車です。最近、州をまたぐ旅行や海外旅行のための長距離スーパーloop（Superloop）ができました。

連合国国際連合「United Nations of United Countries（UNUC）」の加盟国のここ4年における主な目的は、生態系を回復することでした。そしてこの同じ目的のために、技術と環境に関する協定「Technology and Ecology Pact（TEP）」が署名されました。また、緑の革命が再び起こり、一連の環境保護活動が巻き起こりました。TEP組織により任命された技術と環境AI警察（Artificial Intelligence TE police）が世界中に配置され、人間と協力して生態系のバランスを保っています。

私も昔は、AIやIoTが世界を支配すると思っていたけれど、それは間違いでした。それどころか、AIやIoTは私たちを高めてくれています。AIと人類は素晴らしいチームになれるのです。昔誰かが言ったように、AIの頭脳と人間の知恵があれば奇跡を成し遂げることができるのです。

私たちは、環境を保護しながら技術的に進化して行かなくてはなりません。もしバランスを保ちながらテクノロジーとエコロジーを統合することができれば、世界は灰色になることはないでしょう。

さっきから私の万能デバイス「DIAD（do-it-all-device）」がずっと鳴っています。愛犬キーランをドッグストリートまで連れて行く時間です。それでは、どんなことにも全力で頑張ってくださいね。幸運を祈っています。

「未来を予測する最善の方法は自ら未来を創ることだ」

エイブラハム・リンカーン

愛を込めて

アディアより